

京都市立大塚小学校

本校では児童の実態をふまえ、『う歯予防』と『歯・口のけが予防』について従来からある教職員組織の各部（保健部・給食部・安全部）での取り組みを充実しつつ継続して取り組むことを中心に『歯・口の健康づくり』を目指した。

まず『授業を通しての取り組み』としては、各部が、児童の発達段階や健康課題に合わせた指導内容を検討し、『歯・口の健康づくり』について6年間の系統立てた内容で学習できるようにした（以下は各学年重点取り組み単元及び題材）。

1年生 『教室や廊下での過ごし方を考えよう』【安全部】



2年生 『歯にいい食べ物』【保健部】

3年生 『歯みがきのプロになろう』【保健部】



4年生 『噛むことと歯・口の健康について考えよう』【給食部】



5年生 『けがの防止（体育科保健領域）

～どのようにして、歯のけがを防止していこうか考えよう～』

6年生 『病気の予防（体育科保健領域）

～むし歯や歯周病を防ぐために大切なことは何だろう～』



どの授業も学校歯科医の先生その他、養護教諭や栄養教諭が学級担任と連携しより効果的な指導になるよう工夫をしている。



取り組みのもう1つの柱『習慣化に向けての取り組み』として、保健部では『あいうべ体操』を全校で実施し主に歯のけがの防止と不正咬合の予防などを目指している。児童が楽しくかつ正しい方法で1日30回の『あいうべ』を実施できるように音楽に合わせて学級で一斉指導をしている。体育部では、けがを予防するための体力づくりとして、外遊びの道具を充実することや、休み時間に体育館を開放し色々な道具を使って敏捷性・柔軟性等をつける遊びの取り組みを始めた。この他にも児童保健委員会や児童会から歯・口の健康やけがの防止についての呼びかけをすることで全校児童の関心を高め、又、卒業後も『歯・口の健康づくり』を意識できるよう近隣の小中学校と連携し、本校と共通の学習の実施をお願いしている。更に保護者の意識を高めるために、家庭教育講座や学校保健委員会等で歯みがき等の実習を交えながら学校歯科医の先生に専門的なお話をさせていただく機会をもつなど、家庭と学校が共通理解のもと、取り組みを進められるようにしている。